

## 平成 28 年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	生食用向け露地ほうれんそうの栽培法			
[要約] 生食用露地ほうれんそうの品種は、6月どり作型でサイクロン、トリトン、ネオサイクロン、10月どり作型ではプログレスが適する。栽植距離は株間6cm、条間15cmとする。施肥量は窒素成分で18kg/10a以上とする。						
キーワード	ほうれんそう	露地	栽培法	県北農業研究所 園芸研究室		

### 1 背景とねらい

県内のほうれんそう産地は、農家の高齢化等により雨よけハウスが維持できない等の要因で、産地規模が縮小している。そのため、産地規模を維持し、ほうれんそう栽培を継続する手段として、露地栽培の導入を6月及び10月収穫作型で進めている。しかし、雨よけ栽培よりも収量が不安定なことから、本県で安定的な生産を可能とする生食用露地ほうれんそう栽培法の確立を図る。【平成26年度試験研究を要望された課題「生食用露地ほうれんそう栽培の確立」(中央農業改良普及センター(県域))】

### 2 成果の内容

- (1) 生食用向け露地栽培におけるほうれんそうの品種は、6月どり作型では、‘サイクロン’、‘トリトン’、‘ネオサイクロン’、10月どり作型では‘プログレス’の収量が高く、適する(表1、2)。
- (2) 6月どり作型において‘SCO-114’、‘サマービクトリー7’は、生育が早く比較的収量が高いものの、生育期間60日前後で抽台が発生することに留意する(表1)。
- (3) 10月どり作型において‘パワーアップセブン’、‘バルチック7’は比較的収量が高いものの、‘パワーアップセブン’は生存率がやや低く、‘バルチック7’は抽台が発生する可能性があることに留意する。‘チーター’、‘弁天丸’は収量が低く、適さない(表2)。
- (4) 栽植距離は、現地慣行の条間15cmとした場合、株間8cmから株間6cmに狭めると、出荷規格に適する大きさの株が得られるとともに、収量を確保できる(表3)。
- (5) 施肥量は、窒素成分として18kg以上/10aが出荷に必要な草丈を確保でき、適する(図1)。
- (6) 以上、栽培法の要点は以下のとおりである

作型	品種	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			栽植距離	施肥量 (成分量)	出荷規格			
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
6月どり	サイクロン、トリトン、ネオサイクロン	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	株間6cm	窒素 18kg/10a	草丈 28~35cm
10月どり	プログレス	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	○	-----	条間15cm	以上	4本以上詰め・200g/袋

は種○ 収穫期間 □

### 3 成果活用上の留意事項

- (1) 本試験条件下において、4月中旬~5月上旬に播種した場合は6月、8月中旬~9月上旬に播種した場合は10月に収穫可能となった。
- (2) 調査に用いたほうれんそうは、出荷規格を満たす草丈約30cm、1袋(200g)4本以上詰めに適するものを基準に収穫した。
- (3) 本試験において、病害虫防除は播種後10日から2週間間隔(1作概ね3回)で行い、病害虫の被害発生はなかった。除草対策としてはレナシル水和剤(商品名レンザー)を使用し、必要に応じて子葉期までにアシュラム液剤(商品名アージラン液剤)を使用した。作業の支障となるほどの雑草発生はなかった。
- (4) 乾燥年は、発芽や生育が遅延し生育日数を要するため、かん水設備のあるほ場での栽培が望ましい。
- (5) 排水対策として、ほ場周辺に明きよを設置する等の対策をとることが望ましい。

### 4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者：営農指導者(農業普及員等)
- (2) 期待する活用効果：生食用向け露地ほうれんそうの安定栽培が可能となる。

## 5 当該事項に係る試験研究課題

(H26-09) 生食用露地ほうれんそう栽培法の確立 [H26~28 県単]

## 6 研究担当者

長嶺達也

## 7 参考資料・文献

「県北地域における業務用向け露地ほうれんそうの栽培法」平成 22 年度岩手県農業研究センター試験研究成果

## 8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表 1 6 月どり品種の収量性等

品種	試験年次	草丈 (cm)	調整重 (g/株)	抽台株率 (%)	葉色 (SPAD)	収穫までの 日数 (日)	*生存率 (%)	収量 (kg/10a)
サイクロン	2015	30.0	64.3	0.0	63.5	69	93.0	4,983
	2016	29.9	66.2	0.0	65.2	56	95.0	5,241
トリトン	2015	30.4	79.8	0.0	58.3	63	90.0	5,306
	2016	30.1	59.5	0.0	57.1	56	95.0	4,710
ネオサイクロン	2015	30.4	75.3	0.0	63.2	63	91.3	5,731
	2016	30.8	59.4	0.0	60.9	56	95.0	4,702
晩抽サンホープ	2015	29.6	66.6	22.5	60.0	63	87.5	3,767
	2016	29.7	56.3	0.0	55.0	50	95.0	4,457
SCO-114	2015	30.4	49.0	2.5	50.9	54	91.3	3,638
	2016	30.9	58.2	0.0	46.4	50	95.0	4,607
サマービクトリー7	2015	30.2	66.1	22.5	57.6	63	92.0	3,926
	2016	30.6	56.9	0.0	54.2	48	95.0	4,505

耕種概要：栽植距離 株間8cm、条間15cm 畦幅80cm 5条まき 施肥量 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O 2015年15-12-12kg/10a、2016年21-12-12kg/10a  
は種日 2015/4/30、2016/4/13 \*生存率 は種数に対し、収穫時に生存していた株

表 2 10 月どり品種の収量性等

品種	試験年次	草丈 (cm)	調整重 (g/株)	抽台株率 (%)	葉色 (SPAD)	収穫までの 日数 (日)	生存率 (%)	収量 (kg/10a)
パワーアップセブン	2015	33.8	49.8	0.0	51.7	52	68.2	2,832
	2016	30.3	41.6	0.0	52.1	44	85.0	2,943
プログレス	2015	32.4	43.6	0.0	49.5	46	90.9	3,300
	2016	29.6	42.2	0.0	52.7	42	95.0	3,341
チーター	2015	33.4	30.6	15.0	40.4	37	86.4	1,875
	2016	31.8	20.9	0.0	44.4	34	90.0	1,567
弁天丸	2015	33.8	30.0	0.0	46.6	46	86.4	2,163
	2016	30.3	38.8	0.0	49.9	42	90.0	2,906
バルチック7	2015	33.0	39.8	5.0	36.7	37	95.5	3,012
	2016	30.6	37.5	0.0	38.2	37	95.0	2,886

耕種概要：は種日 2015/8/10、2016/8/17、栽植距離、施肥量は6月どりと同様

表 3 栽植距離と収量性の関係

作型	試験区 (株数/10a)	試験年	調整重 (g/株)	草丈 (cm)	収量 (kg/10a)
6月 ど り	株間6cm (111, 111)	2015	55.0	29.8	6,111
	株間8cm (83, 333)	2015	64.3	30.0	5,358
	株間10cm (66, 666)	2015	63.3	30.3	4,219
	株間10cm (66, 666)	2016	81.9	30.4	5,459
10月 ど り	株間6cm (111, 111)	2015	50.4	32.8	5,600
	株間8cm (83, 333)	2015	52.8	33.8	4,400
	株間8cm (83, 333)	2016	41.6	30.3	3,467
	株間10cm (66, 666)	2016	64.7	32.9	4,313
			51.5	30.4	3,433

条間は野菜栽培技術指針に基づき、15cmとした。

供試品種：6月どり サイクロン、10月どり パワーアップセブン

は種日～収穫日：2015年 4/30～7/8、8/10～10/1

2016年 5/14～6/24、8/24～10/5

その他の耕種概要は品種比較と同じ

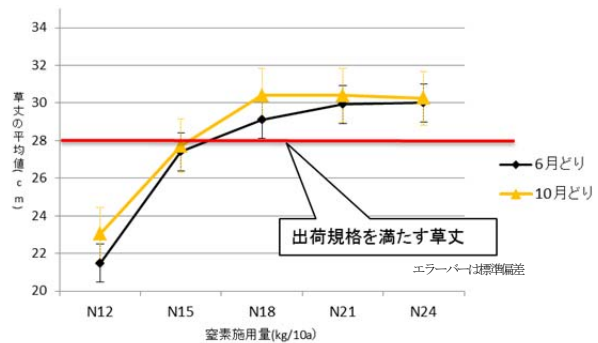


図 1 施肥量が草丈に及ぼす影響

N18 以上で出荷規格に必要な草丈(28cm)が確保される。  
N15 以下では出荷規格まで生育できない。

供試品種：6月どり サイクロン、10月どり パワーアップセブン

は種日：6月どり 2016/4/27、10月どり 2016/9/7

作付前の土壌 pH6.6、EC0.05ms、堆肥は前年に2t/10a 施用

肥料は N555 と硫安を使用、その他の耕種概要は品種比較と同じ